

施策の柱	基本的方向性	施策の展開	主な施策	取組状況（実績）		効果と課題	
				平成24年度	平成25年度		
4. 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり	あらゆる世代一人ひとりが認知症について正しく理解し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて考え行動できる社会を目指し、認知症に関する正しい知識の普及を図るとともに、地域包括支援センターを中心とした早期発見、早期対応することのできる環境の整備や地域における支え手の育成など、認知症の人とその家族への支援を充実します。	①認知症高齢者とその家族への支援  ②支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆認知症に対する理解を深めてもらうイベントの開催</li> <li>◆認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の整備</li> <li>◆認知症サポーターの養成 ・認知症サポーター養成講座開催</li> <li>◆認知症介護研修 ・介護指導者研修 ・実践者研修 ・実践リーダー研修 ・認知症対応型サービス事業管理者研修 ・認知症対応型サービス事業開設者研修 ・小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修</li> <li>◆シルバーセンターによる介護講座の実施、情報提供 ・介護講座の実施 ・福祉用具展示室運営</li> </ul>	参加者数 施設数 床数  開催回数 養成人数 修了者数  受講者数 利用者数	ー 8施設 135床  153回 5,829人  2人 232人 32人 51人 4人 12人  3,114人 4,302人	1,000人 10施設 180床  161回 6,306人  2人 229人 35人 41人 3人 12人  3,151人 4,073人	<ul style="list-style-type: none"> <li>■イベントでの啓発に加え、新たに作成した認知症対策・介護予防のイメージキャラクター「オタッシャー」を使用した広告をバス・地下鉄に掲載した。今後、このような啓発をさらに推進していく必要がある。</li> <li>■地域、学校、職域などを対象に認知症サポーター養成講座を開催し、延べ約2万9千人のサポーターを育成するなど、認知症に関する正しい理解のための普及啓発は着実に進んでいる。今後は認知症サポーターに対し、活動する場を紹介するなどの支援が必要である。</li> </ul>